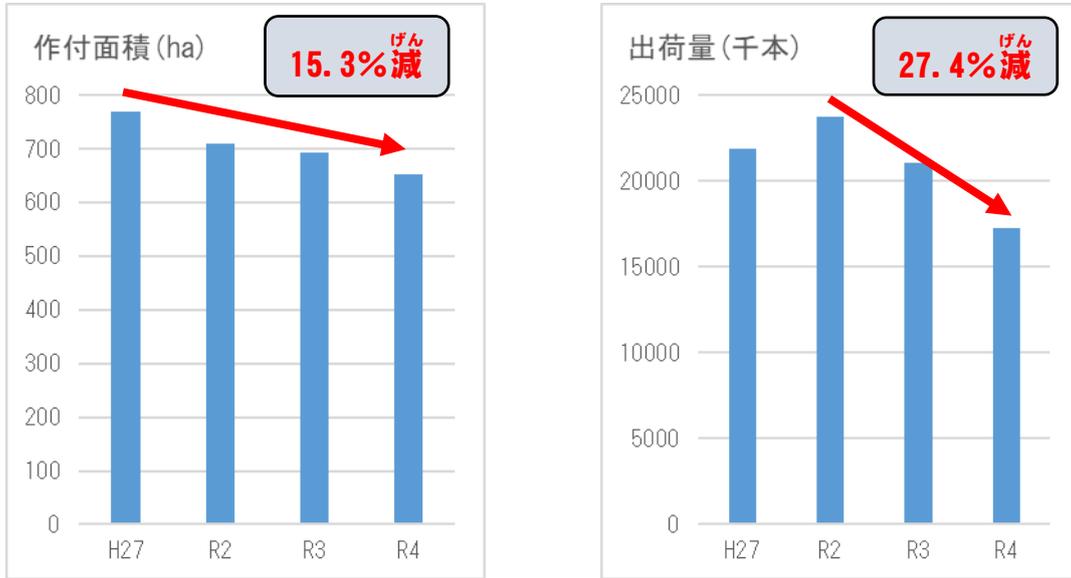


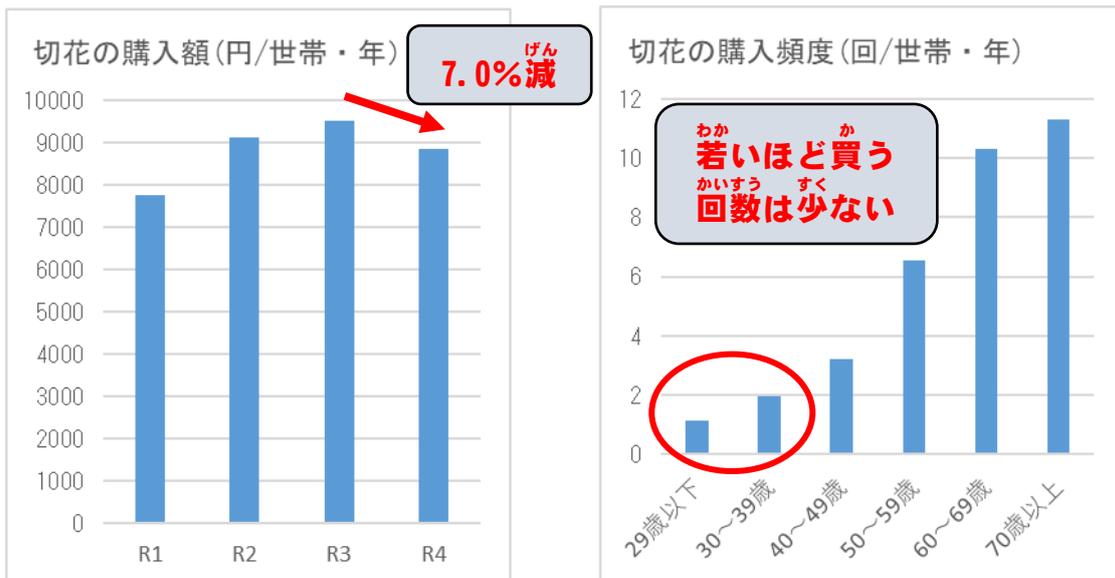
「北海道のお花」の活用について

1 「北海道のお花」の作付面積と出荷量は年々少なくなっています。



2 北海道内の家庭でお花（切花）を買う金額も少なくなっています。

また、年齢が若いほど、お花（切花）を買う回数は少ない状況です。



3 北海道では、お花の産業が今以上に元気なることを目的に、多くの方に、北海道のお花を知ってもらい、親しんでもらうため、次のような取組をしています。

(北海道内にあるお花と関係のある団体の取組を含みます。)

<p>農家の方が丹精込めて作ったお花を、新鮮なまま、みなさんのところまで届ける体制を作っています。</p>	
<p>多くの場所にお花を飾って、お花を知ってもらう取組をしています。</p>	
<p>お花を「整える」「組み合わせる」「飾りつける」(フラワーアレンジメントを作る)体験をしています。</p>	
<p>子どもたちに、お花を育て、やさしさや美しさを感じる気持ちを育む取組(花育)をしています。</p>	

など

4 みなさんに聞きたいこと

○ 北海道では、毎年8月7日の「北海道花の日」を中心に、北海道のお花を知ってもらい、親しんでもらうために、さまざまな取組をしています。

はじめに、みなさんの家には「お花」が飾られていますか？

○ いつもお花が飾られている家もあれば、そうではない家もあります。北海道では、たくさんの方に、より明るく豊かな生活を送ってもらうため、もっとお花を手にとってもらう取組に力を入れていきたいと考えています。

そこで、「北海道のお花」をもっと買ってもらう、使ってもらうためにはどうしたらいいと思いますか？お花屋さんだったとしたら、どう考えますか？